WAK WAK

発行
代表理事　岡本 茂
〒569-0814　高槻市富田町2丁目13-8
ハイツ白菊1F
TEL/FAX　072－693－9005
E-mail:jinken@ba.wakwak.com
URL:http://wak2.jimdo.com

芸術と福祉のWAKWAKするコラボレーション
今年もボーダレスアート展を開催します

障がいのある・ないの垣根を取り払い、アートを通じて楽しみながら自己表現を行うことを目的に開催されているボーダレスアート教室「わんだーぼっくす」。12月6日（日）・7日（月）の二日間、富田ふれあい文化センターを会場にボーダレスアート展を開催します。フェスタヒューマンライツと同時開催です。

11月から後期がスタートしました

５月～10月の前期に引き続き、11月から後期が開講となりました。

後期開講に向けた10月のプレ体験教室では、「王冠タンバリンづくり」と「ハロウインのお面づくり」をしました。

ボーダレスアート教室わんだーぼっくすは月２回の土曜日午前中、富田青少年交流センターで開催しています。

後期受講生も引き続き募集中

学校の転校等で参加できなくなった生徒さんもいて後期は定員20名に対して15名が受講されています。定員に余裕がございますので、ご希望の方はお問い合わせください。

受講料は月3,000円(材料費・保険代含む)です。

わんだーボックス受講生の作品とあわせ巨大壁画キッズゲルニカも展示

ボーダレスアート展ではわんだーボックス受講生の作品展と合わせ、昨年、受講生をはじめ延べ100人がアートワークショップでつくりあげた「キッズゲルニカ」も展示します。

平和をテーマに描き上げた縦3.5m×横7.8mの巨大壁画もぜひご覧になってください。

ボーダレスアート展

日時　12月6日(日)～7日(月)
10時～17時(7日は16時まで)

場所　富田ふれあい文化センター1F談話室およびピロティ

☆わんだーぼっくす受講生作品展
☆キッズゲルニカ展示
―入場無料―

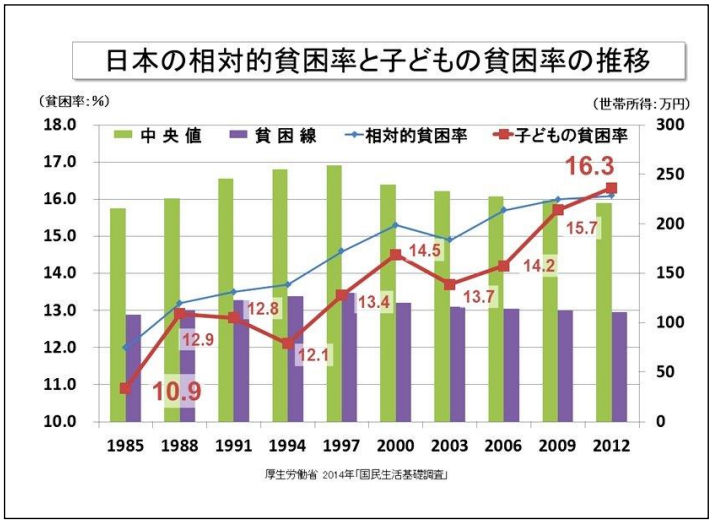
見に来てね！

生活困窮はじめ様々な課題を持つ子どもたちへの学習支援事業
ーこどものあゆみバックアップ事業ー

昨年８月から WAKWAK の事業として中学生への学習支援事業がスタートしました。
今年度は 13 名の中学生が毎週月水の２回、富田ふれあい文化センターで学習会に参加しています。この事業は、キリン福祉財団子育て助成事業ならびに高槻市市民と行政との協働応援事業としても実施されています。

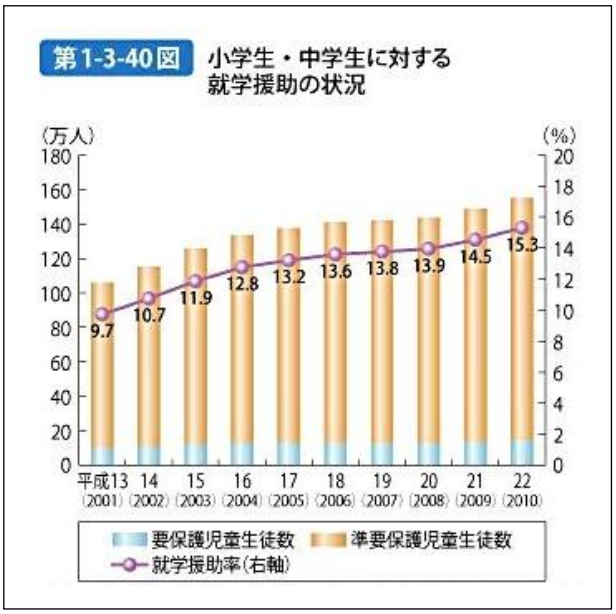
子どもの６人に一人が貧困

厚生労働省 2014 年「国民生活基礎調査」によるデータでは、子どもの貧困率は 16.3%。OECD 比較では 25 位、特にひとり親世帯の貧困率はOECD諸国中最悪の結果となりました。



小中学生の就学援助率も過去最高に

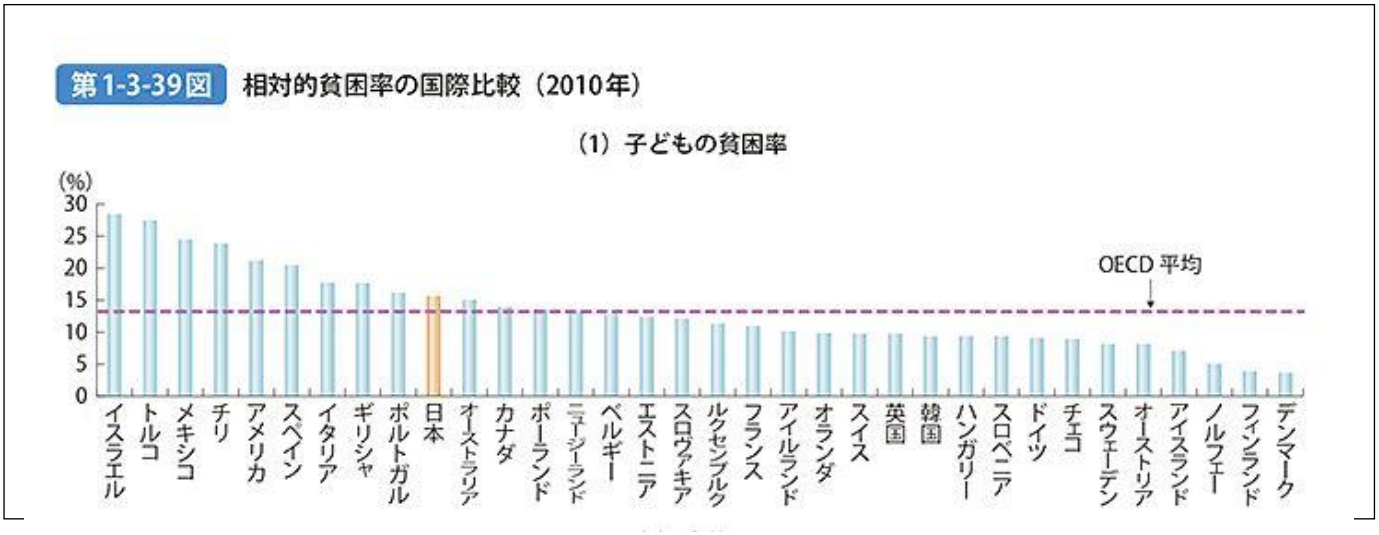
2013 年度内閣府「子ども・若者白書」でも、子どもの貧困率が 1990 年代半ばから上昇傾向にあり、経済的理由により就学援助を



受けている小中学生は 2010 年には約 155 万人、就学援助率は 15.3%と過去最高を示しています。

高槻市では就学援助の子どもは中学生５人に一人、小学生約６人に一人

高槻市では生活保護受給世帯の子どもたちは小学生で 364 人、中学生 230 人。就学援助受給世帯の子どもたちは小学生 3,060 人（16%、約 6 人に 1 人）、中学生 1,806 人（20%、５人に１人）です。-6 月市議会答弁ー



すべての子どもたちに居場所と生きる力を

WAKWAK では様々な課題を持つ子どもたちへの相談支援や学習支援を通じて「貧困の連鎖」を断ち切るとともに、様々な人々や地域、関係機関等の社会的資源がつながることをめざしています。

１月にシンポジウムを開催
学習支援教室の中学生代表も発言予定

１ 月には地域で子どもたちを孤立させない取り組みを進めてきたＮＰＯ法人山科醍醐こどものひろばの村井琢哉理事長を迎え「子どもの貧困」をテーマにこれからの地域の課題についてシンポジウムを行います。

シンポジウム「どうする子どもの貧困～ひとりぼっちのないまちづくり」

日時　１月 30 日（土）P1 半～4 時
場所　高槻市市民総合交流センター
（クロスパル）5F 視聴覚室

基調講演「子どもたちとつくる貧困とひとりぼっちのないまち」
ＮＰＯ法人山科醍醐
こどものひろば理事長
村井琢哉さん

パネルディスカッション
「ひとり親家庭の子どもたちへの学習支援」
NPO 法人あっとすくーる理事長 渡剛さん
「学習支援教室への参加を通じての私の思い」
学習支援教室わんぴーす受講生 代表
*コーディネーター
タウンスペース WAKWAK 代表理事岡本茂

主催 高槻市市民公益活動サポートセンター
―参加費無料。お問い合わせは市民公益活動サポートセンター(668-1781)またはタウンスペース WAKWAK(693-9005) までー

イベントご報告
「人権ネットワークからタウンスペースWAKWAK二十周年―全員集合だよ！ありのままで！！」を開催しました

タウンスペースWAKWAKの前身の「子ども・女性・高齢者・障がい者の人権ネットワーク」設立から二十年を振り返り、６月２０日(土)に記念イベントを開催しました。

オープニングは奥村みきこさんのピアノ演奏とサインオーケストラによる手話コーラス「ありのままで」。そして、松島多美さん・吉田仁志さんによるギター演奏で「つなげ平和の声を」。

子ども達は「つるちゃんの街頭紙芝居」、大人達」は発達障がいをテーマにした映画「秋桜の咲く日」を鑑賞。

２０周年のあゆみのスライドを上映

WAKWAK の事業報告

サニスポ夏祭り、ＮＰＯ協働フェスタに出展しました

今[illegible]催され[illegible]づくりポチ袋を販売、いずれも完売させていただきました。

９月１２日開催の NPO 市民協働フェスタでは団体紹介と市民協働応援事業の２ブースでパネル展示出展させていただきました。

富田富寿栄盆踊り大会を開催しました

伝承をテーマに６回目を迎えた富田富寿栄盆踊り大会を８月 29 日に開催。

地元の天光新月一行を迎えて昨年同様８００名を超える参加者でにぎわいました。WAKWAK も地元自治会・老人会のみなさんと一緒に事務局を担いました。

富田地域に障がい者グループホームの建設をめざして施設見学会

重い障害があっても親亡き後、地域で暮らし続けられるためのグループホーム建設計画が進行中です。施設設計の参考にするため、社福北摂杉の子会が運営するグループホーム「レジデンスなさはら」の見学会を９月 25 日に行いました。

コミュニティビジネスセミナーで活動事例報告

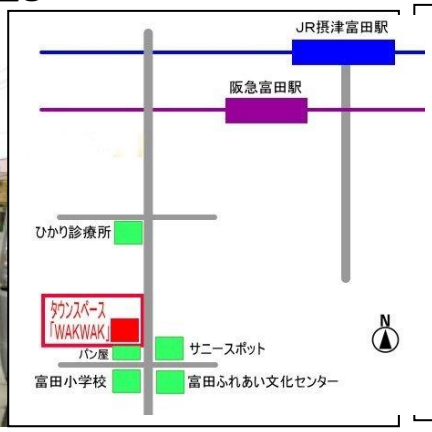
社会的課題をビジネス手法で解決しようとするコミュニティビジネスに関心がある方を対象にした A'ワーク創造館が主催のコミュニティビジネスセミナー。

地域に密着したまちづくりのプラットホームの活動事例として WAKWAK の活動報告をさせていただきました。

子育て中のママが集って おはなカフェの開催

地域で子育てに関わっている女性たちが気軽に集う「WAKWAK おはなカフェ」。

６月には全国で CAP プログラムを展開しているJ-CAPTA チーフディレクターの木村里美さんを迎えて「子どもの安心・自信・自由」について話し合い。９月にはよつばもこさんを迎えて、発達障がいの子どもの課題についても話し合いました。



編集後記

日常業務に追われて前号発行から間をおいての発行となりました。まもなく年の瀬を迎え、早くも次年度にむけて事業計画を立てる時期となります。

「ＳＯＳを発信できない人を見捨てない」地域支援の新たな可能性をめざし、引き続きのご支援をよろしくお願いいたします。